

三菱製紙株式会社

INTEGRATED REPORT 2026

三菱製紙グループ | 統合報告書 2026

三菱製紙グループ 企業理念

世界市場、技術力、
地球環境へのアプローチから、
社会に貢献することを目指します。



世界市場で
お客さまの信頼に応える
企業グループ

PHILOSOPHY

常に技術の
先端を行く
企業グループ

地球環境保全、
循環型社会に
貢献する企業グループ

2026年度 新たに策定
三菱製紙グループ クレド



1 自律と成長

挑戦→変化→成長。自ら考え、
「昨日の自分を超越る」一歩で
新たな価値を創ります。

2 誠実と信頼

「真っ直ぐ」な誠実さと
「磨いた力」で。仲間とともに
確かな信頼を築きます。

3 感謝と幸せ

「ありがとう」の言葉を大切に。
繋がる全ての人へ
「よろこび」を届けます。

CONTENT

イントロダクション

- 02 企業理念、フレド
- 03 目次、編集方針、ウェブサイトのご案内
- 04 創業130周年に向け、“SHINKA”への挑戦 — 三菱製紙グループが築いた技術と事業の軌跡
- 06 At a Glance
- 07 財務・非財務ハイライト

トップメッセージ

- 08 トップメッセージ

SECTION 01 企業価値向上に向けて

- 12 三菱製紙グループの価値創造プロセス
- 13 資本の活用と強化に向けた取り組み
- 14 三菱製紙グループのマテリアリティ
- 15 マテリアリティ別 アクションプラン・KPI一覧
- 16 ステークホルダーとの共創
- 17 2030年に向けたビジョン — 中期経営計画から企業理念実現へのロードマップ —
- 18 企業価値向上を実現する戦略と資本（財務・非財務）のつながり

SECTION 02 企業価値向上の実践

- 20 中期経営計画の進捗（2025年度～2027年度）
- 21 初年度（2025年度）と今年度（2026年度）の重点方針
- 22 財務戦略
- 24 技術・研究の“SHINKA”で特色ある機能・

環境配慮商品を拡大、生産性向上を加速（深化）

- 25 事業戦略の骨子 — “SHINKA”戦略達成のための成長戦略 —
- 26 機能商品事業
- 29 グローバル成長を実現するエリア別戦略の展開 — 機能商品事業 2027年度営業利益150億円達成に向けて
- 30 **特集01** 高砂工場、次世代変革プロジェクト「ビヨンド」を本格始動
- 32 紙素材事業
- 34 **特集02** 八戸工場リニューアルプロジェクト「Reborn60 Hachinohe」
- 36 研究開発

SECTION 03 持続的価値創造の基盤

- 40 サステナビリティ担当役員メッセージ
- 42 理念を、現場の判断と行動へ。新たな価値を創るための「フレド（信条）」
- 43 地球環境への貢献を“SHINKA”
- 44 持続可能な社会への貢献
- 45 環境への取り組み
- 46 カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの加速
- 47 循環型社会への貢献
- 48 気候変動への対応（TCFD提言に基づく情報開示）
- 49 自然資本への対応（TNFD提言に基づく情報開示）
- 50 生物多様性の取り組み
- 51 ガバナンス・人的資本経営を“SHINKA”
- 52 人的資本と未来

- 53 企業価値向上に向けた人財の確保と育成
- 54 ダイバーシティ&インクルージョンの強化
- 55 働きやすい職場環境づくりとエンゲージメント向上
- 56 労働安全衛生の取り組み
- 57 DX戦略
- 58 ガバナンス
- 60 役員一覧
- 61 取締役のスキルマトリクス
- 62 社内・社外役員の経歴
- 64 指名報酬委員会
- 66 取締役会の実効性評価
- 68 社外取締役・CG本部長座談会
- 70 監査役メッセージ
- 72 リスクマネジメント
- 73 コンプライアンス
- 74 品質管理
- 75 人権尊重の取り組み
- 76 サプライチェーン

データセクション

- 78 財務データ
- 79 非財務データ
- 80 財務諸表
- 82 企業データ・国内・海外拠点
- 83 IR活動・情報開示体制・株式情報

ウェブサイトのご案内

当社ホームページでは、サステナビリティ/環境情報、IR情報、製品・サービスの情報、研究開発の情報、会社基本情報、採用情報など、さまざまな情報を掲載しています。

サステナビリティ/環境

統合報告書、
コーポレートレポート



SDS / AIS /
分析試験成績書



製品・サービス



IR情報

有価証券報告書/
四半期報告書



研究開発



決算経営
報告資料



編集方針

全てのステークホルダーの皆さまに当社グループの事業活動全般をご理解いただくことを目的に、財務情報と非財務情報をまとめた『三菱製紙グループ統合報告書』を発行しています。持続可能な社会の実現に貢献する当社グループの企業価値創造の取り組みをご報告します。

■ 対象範囲

三菱製紙株式会社および連結子会社（国内6社、海外5社）、持分法適用関連会社（国内2社）を対象としています。

■ 対象期間

2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）としましたが、一部対象期間外の内容も含まれます。

■ 参考にしたガイドライン

国際統合報告フレームワーク
価値協創ガイダンス
GRIスタンダード
ISO26000
環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」ほか

■ お問い合わせ先

三菱製紙株式会社
コーポレート・ガバナンス本部
ガバナンス統括部 企業価値創造推進グループ
〒130-0026 東京都墨田区両国2丁目10番14号
TEL: 03-5600-1488 FAX: 03-5600-1489
E-mail: csr@mpm.co.jp

■ 発行日

2026年10月

表紙

光を帯びて旋回する流線は、フレドに掲げる「挑戦→変化→成長」の循環を表し、未来へ進化していく三菱製紙グループの姿を象徴しています。一つひとつの軌跡が重なり大きな流れを描く構成は、「昨日の自分を超越する」一人ひとりの一歩が、仲間とともに組織の新たな価値創造へとつながっていく連続性を視覚化したデザインです。



創業130周年に向け、“SHINKA”への挑戦 —— 三菱製紙グループが築いた技術と事業の軌跡

三菱製紙グループは、1898年に神戸市で創業して以来、高い技術力を背景に、社会に有用な特色ある数々の製品・サービスを開発し、お客さまに満足していただける「価値」を提供してまいりました。

長きにわたる歴史と伝統をベースに、ステークホルダーの皆さまの「価値」を重視していく姿勢は現在にあっても変わることはありません。

今後もそのあゆみを止めることなく、“SHINKA”した姿で、産業と社会の発展に貢献してまいります。

売上高
機能商品事業売上高
(旧イメージング事業を含む)

製品・事業の遷移

1902年

上級印刷紙(金菱)の
生産を開始



1913年

和紙の生産を開始



1935年

バライタ紙を開発・販売



1950年

印画紙「月光V」
(青黒調)を発売



1965年

三菱カラー印画紙を発売



1972年

感熱紙の生産を開始



1974年

ダイレクト製版システム
「三菱シルバーマスター」を発売



1980年

世界初のインクジェット
専用紙を発売



創業1898年

1900

1910

1920

1930

1940

1950

1960

1970

工場・社屋の遷移

1898年

合資会社神戸製紙所設立
神戸市三宮でウォルシュ
兄弟経営の製紙会社を
岩崎久彌が譲り受け



1901年

神戸市三宮から、高砂
市に工場を移転
(現高砂工場)



1917年

中川工場を新設
(2003年3月閉鎖)
社名を三菱製紙株式会社に
改称



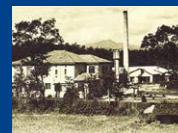
1925年

本社を高砂市から
有楽町に移転
その後、1928年に
八重洲ビルに移転



1944年

京都写真工業株式会社
と合併し、京都製工場
を新設(現京都工場)



1966年

八戸工場を新設
白河パルプ工業株式会社
と合併(現北上工場)



1981年

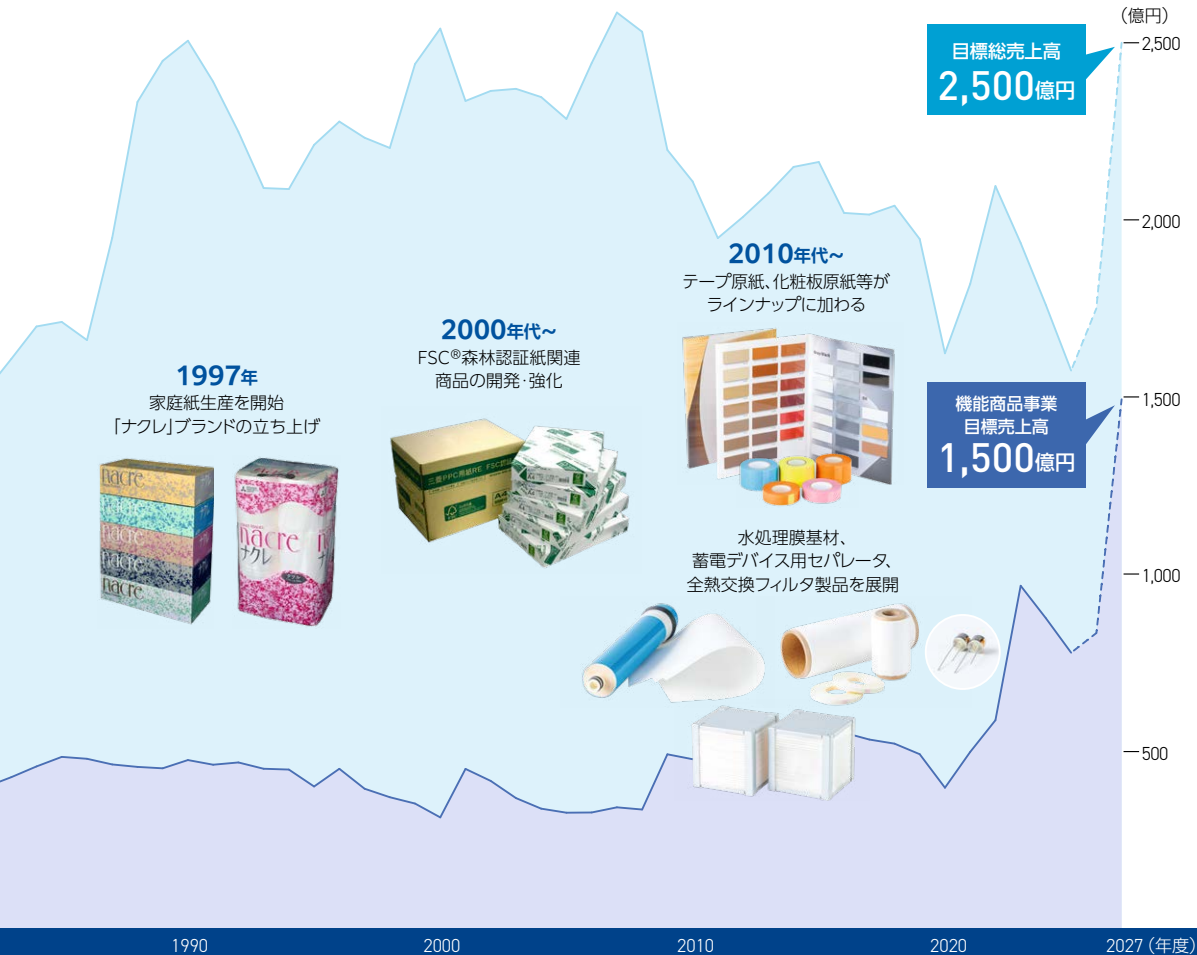
本社を丸の内に移転



1995年

ニューヨークに三菱商事
株式会社との合併販社
Mitsubishi Imaging
(MPM), Inc. を設立





1999年
ドイツの2工場をストライクン
より買収し、三菱製紙グループ
傘下に(2023年9月フランス
ブルク工場売却)



2007年
中国に珠海清菱浄化科
技有限公司を設立



2011年
東日本大震災発生により
八戸工場が津波で甚大な被害
(同年11月には完全復旧)
KJ特殊紙株式会社を完全子会社化



2012年
本社を丸の内から
両国に移転



2024年
KJ特殊紙株式会社を
三菱製紙に統合、
富士工場に改称



変革のDNA



銀塩写真からインクジェットへ

三菱製紙グループは、銀塩写真の製造で培った高度な「塗工・画像再現の技術」を基盤に、時代の変化に応じて事業ポートフォリオを変革してきました。写真のデジタル化という大きな市場の転換期においても、そのコア技術をいち早くインクジェット用紙などの新たな画像メディアへと応用し、進化を続けています。



紙から機能性材料へ

長年培ってきた製紙・塗工技術を掛け合わせ、成熟市場である従来の「紙」から、社会課題の解決に直結する「機能性材料」へと事業の軸足を大きく移しています。水処理膜基材や蓄電デバイス用セパレータなど、今後の飛躍的な成長が期待される最先端の素材開発を通じて、次世代の持続可能な企業価値を創造します。

2026年～

高砂工場次世代変革プロジェクト 「ビヨンド」▶P30



八戸工場リニューアルプロジェクト 「Reborn60 Hachinohe」▶P34

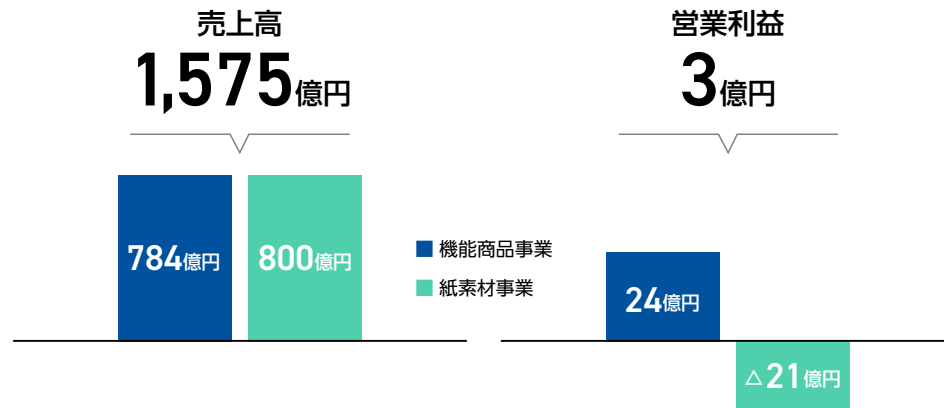


本社サテライトオフィス 京都工場の敷地内に「本社サテライトオフィス」を開設



At a Glance

2025年度 売上高／営業利益



※売上高の差額はエンジニアリング事業や調整額(内部取引に係る調整)によるもの

機能商品事業

売上高 **784**億円 営業利益 **24**億円

- 感熱紙 ● ノーカーボン紙 ● PPC用紙
- インクジェット用紙 ● 印刷関連資機材 ● 電子工業材料
- 蓄電デバイス用セパレータ ● 水処理膜基材
- フィルター ● 化粧板原紙 ● テープ原紙

紙素材事業

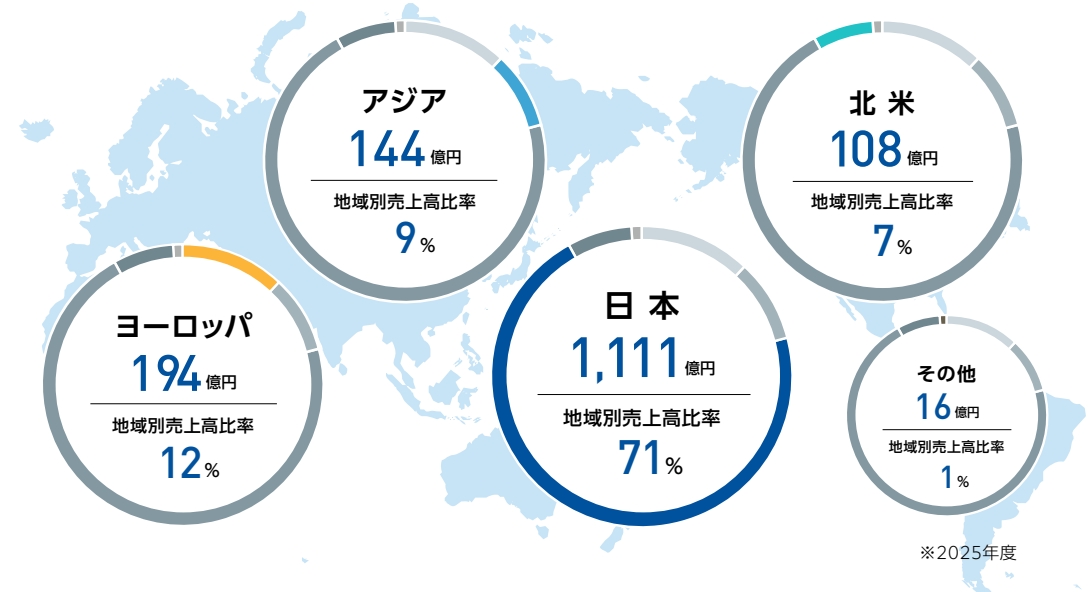
売上高 **800**億円 営業利益 **△21**億円

- 非塗工印刷用紙 ● 微塗工印刷用紙 ● 塗工印刷用紙
- 特殊印刷用紙 ● 家庭紙 ● 包装用紙
- 白板紙・その他特殊用紙 ● 晒クラフトパルプ
- 特殊パルプ

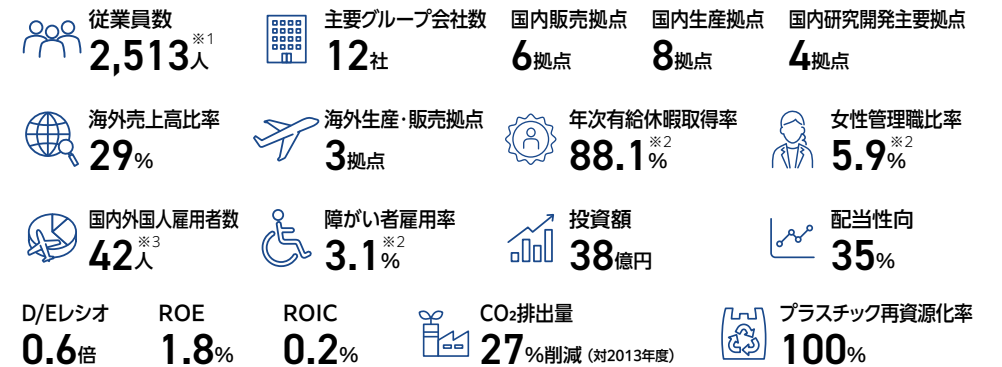
高シェア商品



地域別売上高／拠点



数字で見る三菱製紙グループ



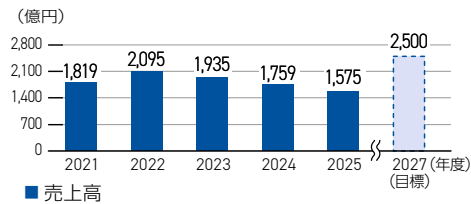
[2025年度または2026年3月31日時点のデータ]

※1 従業員数は就業人数であり、臨時従業員数は含みません。 ※2 三菱製紙株式会社の単体数値です。 ※3 派遣社員を含みます。

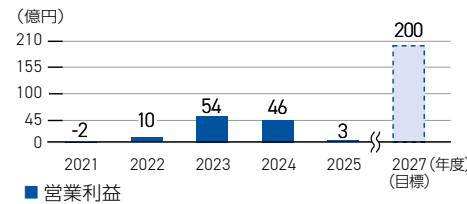
財務・非財務ハイライト

収益性

売上高

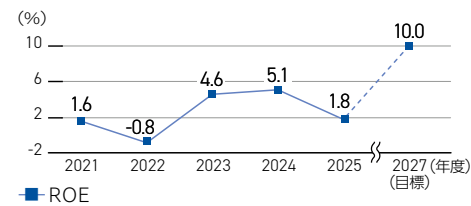


営業利益

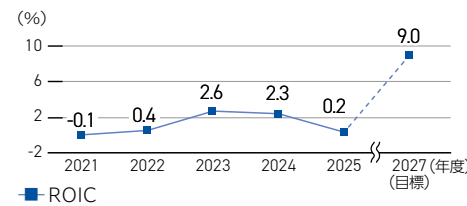


効率性

ROE

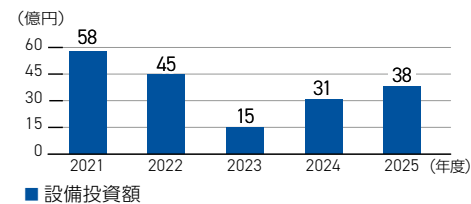


ROIC



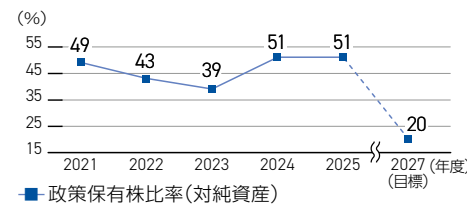
投資

設備投資額



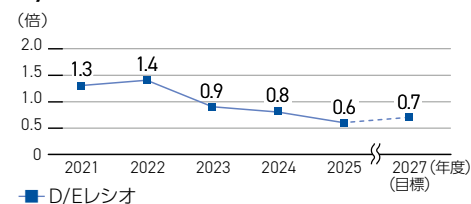
財務健全性

政策保有株比率

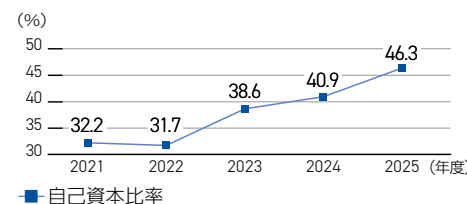


財務健全性

D/Eレシオ

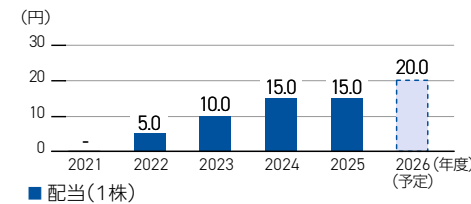


自己資本比率

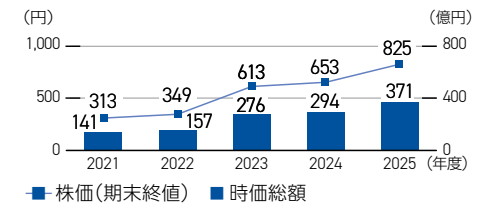


株主還元・市場評価

配当

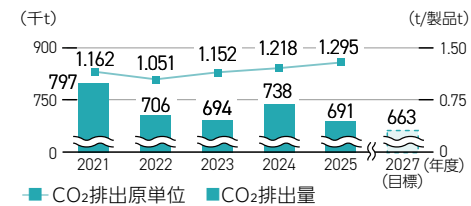


株価・時価総額

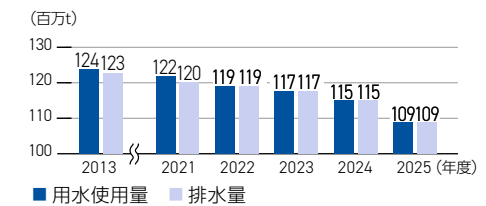


環境

CO₂排出量・排出原単位

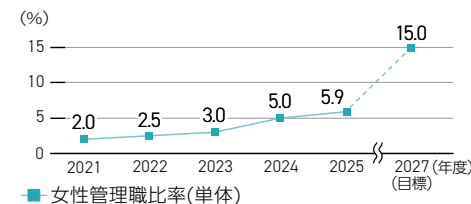


用水使用量と排水量

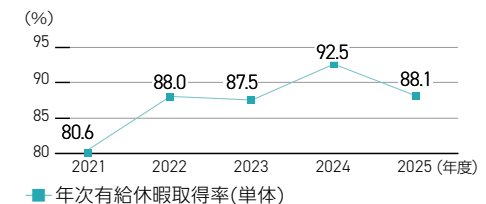


人的資本

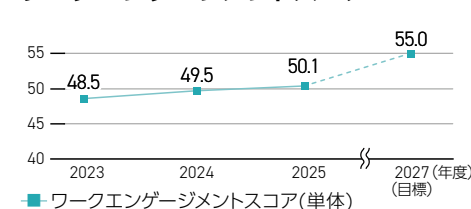
女性管理職比率



年次有給休暇取得率



ワークエンゲージメントスコア



国内外外国人雇用者数

